

酒もタバコもコーヒーも、飲まず吸わずに活動中

【月刊発行をめざす、江戸川区議会議員田中けんの政治活動報告書】

月刊

田中けん



【無所属】区議会「一人の会」

2014年12月1日から、所属会派を「一人の会」に変更しました。

3号連続特集！「第3回定例会一般質問」

3号
連続特集
最終回

第3回定例会代表質問

2014年9月29日

質問7：学校適正配置に関して

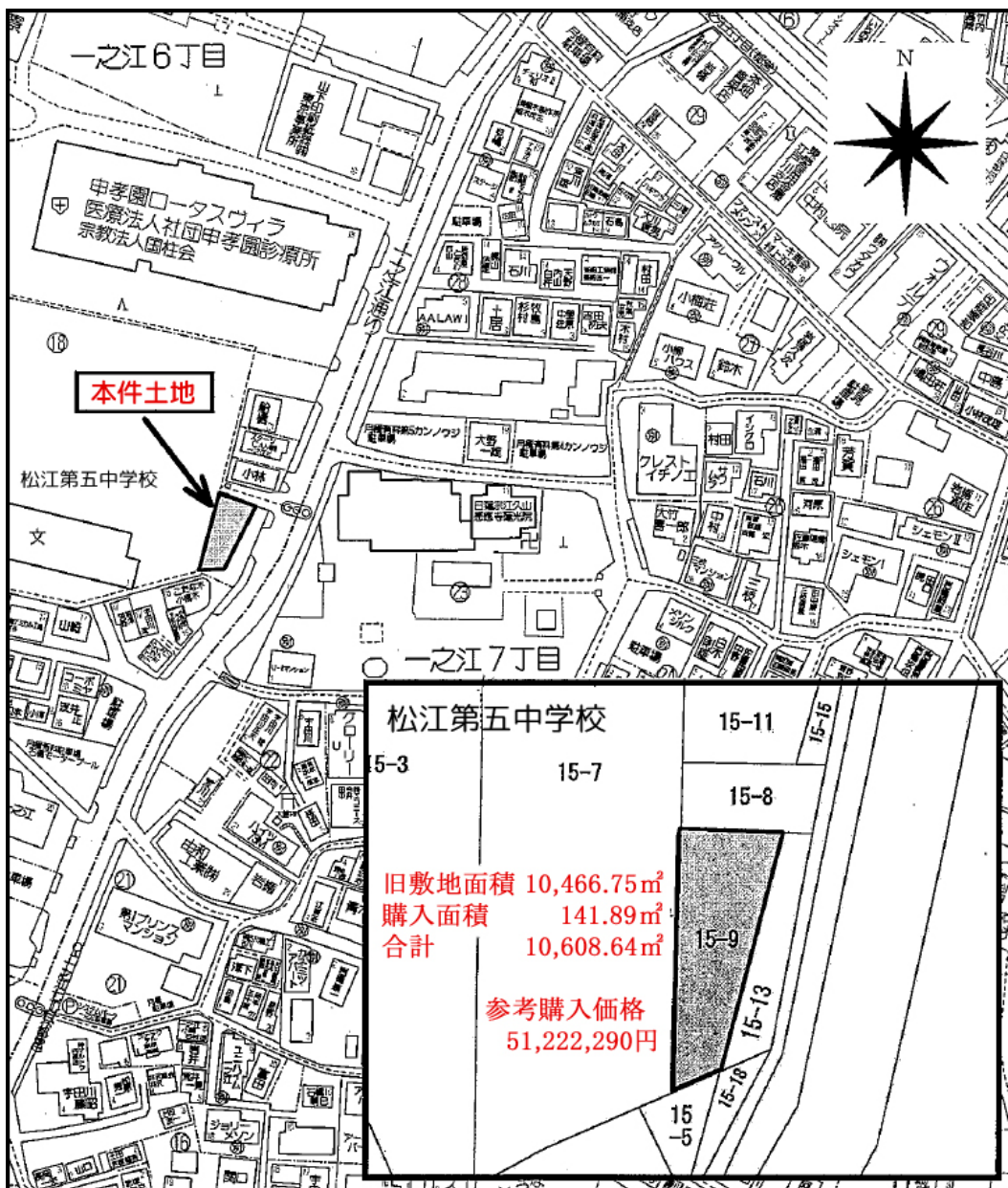
【質問7に限ってはダイジェストで表記します】

私の注文は、学校の統廃合に関連して、存続させる学校は、広い敷地面積にして欲しいのです。

**「数が多くても狭い小中学校から、
数が少なくても広い小中学校へ」**

松江第五中学校では、隣地の141.89㎡が購入されました。今度は10,608.64㎡に広がります。参考購入価格は、51,222,290円です。

松江第五中学校位置図



☎総合連絡先: 03-3248-0888

弁護士による無料法律相談受付中

田中けん集会＊百語

2月14日(土)13:00~ 早稲田大学生による発表
「政治への挑戦~政治活動に参加する大学生へのインタビュー」

3月15日(日)13:00~ 「ホワイトデー後日祭」

参加費:1,500円(飲酒希望者は3,000円)
場所:田中けん事務所(詳しくは4ページ目に!)
食事付きの集会です。
集会参加希望者は、事前連絡をお願いします。

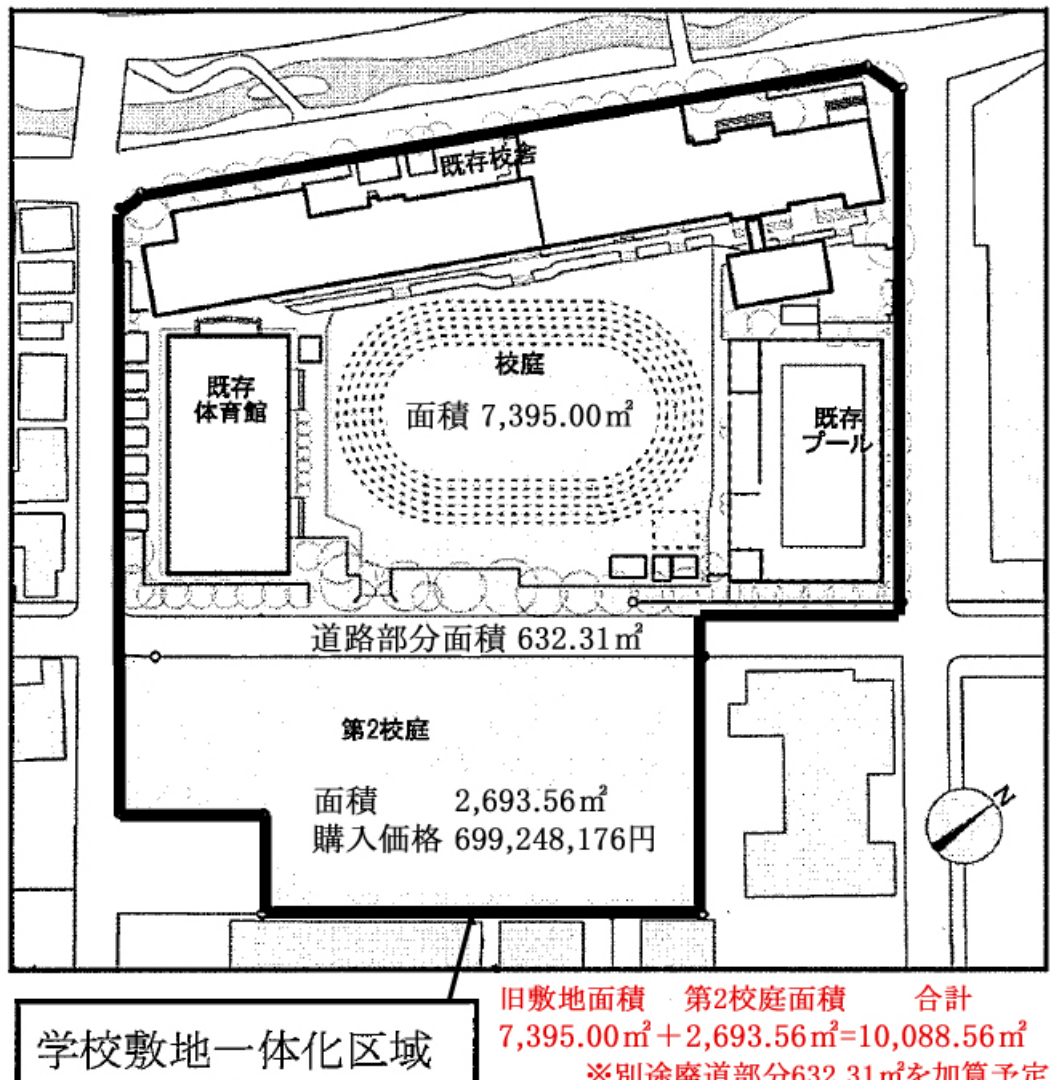
第三松江小学校では、第2校庭の2,693.56㎡が購入されました。今度は10,088.56㎡に広がります。購入価格は699,248,176円です。第三松江小学校の場合、本校庭と第2校庭をつなぐ道路部分も将来的には敷地面積として加算されることから、10,720.8㎡にまで敷地面積が広がります。

このように松江第五中学校と第三松江小学校での対応について、私は評価します。私が注目しているのは、敷地面積がより狭い小中学校です。松江三中を例にします。

今、松江三中は隣接する道路の拡幅工事に敷地面積が、9,200㎡から8,500㎡弱になってしまいます。かつて文教委員会の視察で訪れた鶴岡市立朝陽第一小学校の敷地面積は24,000㎡でした。鶴岡市の小学校と比べ、江戸川区の中学校の敷地面積が1/3しかないのは、いくら地方と都市という条件の違いを考えても狭過ぎます。

松江三中の東側には丁度広い空き地があります。土地は代替不可の一個物です。タイミングよく購入できなければ、逆にどんなにお金があっても、そう簡単に買えません。今こそ松江三中の隣接地を購入すべき時期だと思いますが、いかがでしょうか。

第三松江小学校現況図



質問7 学校適正配置の質問への答弁



多田 区長

適正配置というか、敷地の拡大ということで、何回かご質問いただいております。答えていることとやっていることが違うじゃないかというお話も、ご指摘もいただきましたけれども、学校用地は改築にあわせて、もう少し地形をよくしたいとか、あるいは場所的に、例えば松江五中などは、校門となるべきところのすぐ脇に、つまりマンションほどじゃないんですけれども、そういう集合住宅をつくりたいという計画があって、それはつまり代替地を提供するから、そこは学校に譲ってもらって、そして立派なというか、校門らしい校門をきちんとつくりたいと。そういうこともあって、交渉してきたわけがあります。それは実現をしたわけですが。

船堀小学校も若干地形をよくするため、あるいは船堀街道に面したところの、つまりちょっと老朽家屋がありまして、そういうところも購入しちやいたいということで、若干購入するとか。第三松江小学校もそうですが、あの辺の都住がなくなることにあわせて、用地購入をしておいたと。これは起債がかかっていますけれども。いろいろ環境改善のために、この際やっておくべきだということについては、やっぱりやっている。そういうことになるわけでありまして。

松江三中もそうなんですけれども、若干校庭が狭くなってということもありまして、向かいの空き地ができていくということで、ご質問いただいたときには相手とちょっといろいろ交渉中でありまして、地主と。それで、ちょっとそういうこともあって、余り具体的なことを明らかにしてはまずいような状況にあったものですから、申し上げませんでしたけれども、地主さんをあえて申し上げませんけれども、その方が、つまり会社で使いたいということをおっしゃって、大体目的を決めたら、かくかくしかじかということなので、それならそこでなくてもいいんじゃないですかということをおっしゃって、例えば直接私どもが購入ということもありますけれども、代替地を探して、そしてそこを手に入れて提供するということがいかにというようなこともお話をし、数ヶ月かもうちょっとかわかりませんが、社内で検討しますということで、検討していただきましたけれども、最終的な結論としてはどうしてもあそこでそれはやりたいと。そういう返事があって、申しわけないけれども、この際は協力いたしかねるというお話をいただいたので、残念ながら購入はできませんでしたけれども。

そういう努力は一応してはいるんです。そういう経緯があって、今お話をいただきまして、もう一回挑戦してくれということでしたけれども、もう一回というか。そうい

うことなので、ちょっと再挑戦ということにはできないなというふうに思っています。

私はお金の問題ももちろん申し上げましたけれども、学校は確かに敷地が広いことは望ましいことだと思います。望ましいことだと思いますので、できればそうしたいと思いますが、それは一面ではまた財政問題がありまして、どこもかしこもそういうことをしていくということが出来るかどうかということは、いきさつの優先順位からすれば、そこまでは手が回らないということもいろいろあるかと思うんでございます。

しかし、先行き、例えば統廃合などによって空き地ができた。そういうときに今までこれでは狭過ぎるという学校もないわけではない。大体おしなべて小岩のほうの学校は狭いんです。葛西のほうは広いけれども。ですから、そういうところを広げる手立てとして、どこか廃校のところを代替地として使って近隣の人に協力をいただくとか、方法はないわけではないと思うんです。

ですから、そういう条件ができてきたら、そういうことも考えられる。余りお金を使わずにやることもできるかなと思いますが、それは少し時を待っていただきたいと、そういうふうに思っております。

質問8：子どもたちにハイテク機器を使わせる是非について



田中 けん

小中学校の敷地面積を取りあげた関係から、教育そのものについて質問します。子どもたちにハイテク機器を使わせる是非についてであります。

最近、201年に亡くなったスティーブ・ジョブズが、実は自分の子どもたちには、デジタル機器を使うことを制限していたというニュースを読みました。スティーブ・ジョブズがiPhoneで有名なアップル社の共同設立者の一人であることはよく知られた事実ですが、その彼をして、自分の子どもたちにはハイテク機器を使わせなかったということは、ほとんど知られていませんでした。

私は、いや私たちはこれまで小中学校へのパソコン導入など、積極的に教育の場にハイテク機器を導入すべきとの提案をし、実現してきました。

しかし、このようなニュースが流れると、はたしてこれまで私たちが推進してきたパソコンに代表されるハイテク機器の学校現場における導入は良かったことなのか、悪かったことなのか、今一度検討してみてもいいのではないかと思うようになりました。

「我々は誰よりも技術の危険性を見てきている。だからこそ、子どもたちの身にそのようなことは起こってほしくない」

これはスティーブ・ジョブズの言葉です。



UCLA大学の研究者たちが最近発表した研究によると、数日間、電子機器利用を禁止しただけで、子どもたちの社交スキルがまたたくまに向上したそうです。

もし子どもの頃からハイテク機器に慣れ親しんでしまえば、幼少期から学ぶべき、人と人の社交性を高める大切な時間を奪い、人格形成に悪影響を与えてしまうのではなからうかと、スティーブ・ジョブズは考えていたはずで

す。時代の最先端を反映し、若者の世相を映し出す鏡たる文学やマンガでは、友達が少ないひとりぼっちのキャラクターが主人公になっている物語が流行っています。

「僕は友達が少ない」2009年

「やはり俺の青春ラブコメは間違っている。」2011年

「私がモテないのはどう考えてもお前らが悪い！」2011年

どの作品もここ5年以内に発表されています。各作品の累計は、450万部、100万部、195万部であり、超ベストセラーになっています。

これらの作品に共通しているのは、どの主人公たちも、自分には友達がいない、恋人もいない、孤独であるということです。以前の文学や少年マンガならば、とても主人公にはなりえない、孤独で性格が暗いキャラクターたちばかりです。

しかし彼らこそが、同じような時代を生き、同じような体験をしてきた等身大の若者を投影しているのです。

これらの作品はどれもアニメ化されましたが、そこには、一人でパソコンをしたり、TVゲームをしたり、スマホをしたりする描写が頻繁に出てきます。他人と一緒にいても、両者無言で会話が續かない様子もよく出てきます。

その中でも特に「私がモテないのはどう考えてもお前らが悪い！」に関して言えば、日本の作品でありながら、まずは海外で高く支持され評判となりました。その人気は逆輸入の形を取って、日本でも人気が出た作品です。

つまりスティーブ・ジョブズが危惧した「ハイテク機器と接することで、人間の社交性が低くなってしまふ」現象は、決して日本特異の現象では無く、世界的に広がっている深刻な現象かもしれないと認識できます。

孤独で人付き合いが下手な若者が増えている現実には、子どもたちがハイテク機器に触れすぎていることが影響しているのではないだろうかという関連性の是非について、区長はどのようにお考えになりますでしょうか。

質問8 子どもたちにハイテク機器を使わせる是非の質問への答弁(1)



多田 区長

ハイテク機器のことにつきまして、これは具体的には教育長から教育問題としてお答えしますが、これはハイテクもメリットもデメリットもあって、青少年に余りよくないなということも多々あるのではないかと思います。そのデメリットをなるべくなくしていく形で教育の中に取り込むということは、これはやっていいことだと思いますので、それは個々の問題として考えていくべきものではないかと私は思いますが、具体的に教育長のほうからお答えをさせていただきます。

質問8 子どもたちにハイテク機器を使わせる是非の質問への答弁(2)



白井 教育長

江戸川区は学校教育において、情報教育を進めて参っております。私は情報教育というのは大きく2つあると思います。

1つは、学校に必要と考えられるICT機器を配備しまして、子どもたちに最低限必要な機器操作も含めた情報活用能力を育成すること。それから、授業がより一層わかりやすく深まる授業を実現すること。これが1つだと思います。

もう1つは、これはスティーブ・ジョブズさんも私も読ませていただきましたが、やはり表側と裏側があります。この裏側の部分、今、区長デメリットとお話になりましたが、その部分をきちんと児童・生徒や保護者にお話ししていくこと。あくまでもこのICT機器というのはツールですから、ツールとして活用するものですから、そのツールに支配される人間になってはいけないということだと思います。

支配されるようになってしまうと、先ほど議員さんがおっしゃったようなことが出てくると思いますので、江戸川区の子ども学校といたしましては、そのためにセーフティ教室やったり、ICT教室をやったり保護者の方も含めてそのようなことを行っているということで、そのバランスをとっていきたいというふうに考えているところでございます。

ICT機器・・・情報通信技術のこと



例) コンピュータ・タブレット・デジタルカメラ・プロジェクタ・実物投影機など

質問9：住宅政策について



田中 けん

基礎的自治体の場合、「人口問題とは住宅問題だ」が持論です。ホームレスという特殊な例を除けば、江戸川区に住もうと思った人は、どこかの家に住まなければならないのは自明の理です。

江戸川区の流入人口を増やさない視点として、私は真っ先に住宅政策を考えます。供給する住宅戸数が多くなれば人口は増え、供給する住宅戸数が少なくなれば人口はさほど増えません。区外からの流入人口を増やさないためには、住宅建設、とりわけ集合住宅の建設にかかるハードルを高くする方向に修正すべきです。

住宅に関係する条例の数値を少し変えただけでも、その効果はてきめんです。このように人口問題を考える上での、住宅政策のあり方の重要性に関する認識を、区長はどのようにお考えなのかお聞かせください。

と、こういうことが言われているわけで、25年度統計で先日の新聞によれば、820万戸が日本に空き家が出ていると。全国の13.5%がそうだと。そういうことを言っておりましたが、全国のいわゆる家屋のということでしょうが、13.5%だと。

江戸川区もどの程度空き家があるかというのは最近正確な調査をしておりませんが、先般危険な空き家については全部調査をいたしまして、対応をいろいろ決めていったわけでありまして、ちょっと古いんですけども、平成20年の一応統計では、空き家が3万戸あったということですので、相当な数の空き家が出ているということは想定できます。私も宅建業界の方々などに聞きますと、やっぱり最近、特に葛西などは空き家が増えていますということを空き家ないしは、つまりマンションの空き室ですね。これが増えているということを聞いていますので、そういう傾向にあるなというふうに思っています。

今、各自治体がこういうことに取り組むべくいろいろな知恵を出そうとしておりまして、それが少子化とか、あるいは高齢化の問題に対して、そうした資源を有効に使えないかということを探しているわけで、そういうところを使ってさまざまな施策展開ができるのではないかと、そういうふうにもくろんでいるわけでありまして、

当然私たちもそうした方向をこれから考えなければいけないだろうと思って、これはテーマだというふうに思っております。

質問9：住宅政策の質問への答弁



多田 区長

先般新聞にも出ていましたけれども、人口が減るということもありますし、また地方が過疎になるという問題によって、地方も非常にたくさんの空き家ができている



献金のお願

「月刊田中けん」発行の経費は7万円以上です。「田中けんを応援する会」の政治活動を経済的にお支えください。ご協力をお願いいたします。

※ 注意点 ※

1. 受付は全て銀行振込です。
2. 年間5万円以下でお願いします。
3. 個人名義でお願いします。
4. 日本人に限ります

お振込先

みずほ銀行 小松川支店
普通 1015472
田中けんを応援する会

小中学校をもっと広く・シンプルな行政が無駄のない政府・移民政策に反対



江戸川区議会議員

田中 けん

松江三中卒、墨田川高校卒、
千葉大学教育学部卒
1995年～江戸川区議会議員(5期)



03-3248-0888 (平日 9～18時)

自宅事務所：〒132-0021 江戸川区中央4-25-14
(敷地内奥、白いプレハブ)

info@t-ken.jp
www.t-ken.jp



共著紹介



"外国人参政権"で
日本がなくなる日
宝島社(2010年)



100人がしゃべり倒す!
「魔法少女まどか マギカ」
宝島社(2011年)



"人権侵害救済法"で
人権がなくなる日
宝島社(2012年)

区議会日台親善議員連盟会長・禁煙地方議連代表幹事・ホームヘルパー2級